

# 親子聖書日課

NO.1669 2020.9/20-26 名前

[日]御言葉に聴従しなければ、主は災いを下し、主に助けを求めても聞かれません。人を生かす御言葉は、それを退ける者には、恐るべき死の言葉になります。自分の都合で割引いてはいけません。「契約の言葉」として、生涯、聴従しましょう。

[月]人に傷つけられた時、仕返ししたくなります。しかし、エレミヤは違います。アナトの人々から命を狙われた時、武力で対抗しません。「正義を持って裁かれる主」に訴え、主に任せたのです。報復は、人間のすることではなく、主のすることです。

[火]「善人が貧しく、悪人が栄えるのは不公平だ」と、文句を言いたくなるものです。しかし、悪人がどんなに「根を張り、育って実を結んで」も、神は彼らを「その地から抜き捨てる」のです。必ず、悪人の最後は裁かれますから、主に従いましょう。

[水]どんな高価な帯でも、帯だけでは役立ちません。しっかりと腰に結ばれてこそ、帯としての存在価値があるのです。帯は人、腰は神です。神と結ばれている時、役立つ者となります。主から離れては何もできません。御言葉に聴従しましょう。

[木]エレミヤは民からひどい仕打ちを受けながらも、民のために祈りました。彼らのために涙を流すほど愛しました。しかし、17節を見ると、彼の涙の背後に、主の涙がありました。私達が救われるために、どれほど主が涙を流されたことでしょうか。

[金]エレミヤには神の裁きを宣告する困難な仕事がありました。神の言葉は、全て裁きの宣告ではありません。審判の彼方に、神の救いがあります。私達も救いの言葉を「見出し、それをむさぼり食べる」経験が必要です。心は満たされ、喜び踊ります。

[土]結婚するな、葬儀に出るな、と非常識なことが命じられています。滅びが近づいていることに気づかず、この世の事に関心を寄せる者への警告です。私達は主の花嫁ですから、自分を葬ることがないように、主との交わりを第一としましょう。



	聖書	問題	答え
日	エレミヤ 11:1-17	今日に至るまで、私の声 にどうせよと、主は言って きましたか。	
月	11:18- 12:6	私は訴えをあなたに打 ち明け、どうしましたか。	
火	12:7-17	もし彼らが従わなけれ ば、民は必ず抜き捨てて どうされますか。	
水	13:1-27	人は帯をどこにしっかり 着けますか。	
木	14:1-22	私の目は夜も昼も何を 流し、とどまることがなか ったですか。	
金	15:1-21	御言葉が見出された時 それをどのように食べま したか。	
土	16:1-21	お前たちは先祖よりも 更に何を行いましたか。	
感想と祈りの課題			